

## 令和5年度 看護師職能I委員会 活動報告

### ■委員名

委員長：松本ゆかり

副委員長：高濱和美

委員：米富サオリ 田代真理 古川久美子 田川早苗 住谷良恵 川井正子  
安井啓子 芦田真知子 関 滝江 佐藤隆平 大磯佳子

### ■活動目標

1. 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成への支援
2. 地域包括ケアの充実に向けた連携・協働を推進する
3. 新人看護師支援に向けた取り組み

### ■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席者	内容
1	令和5年4月21日	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度保健師助産師看護師合同交流会企画</li> <li>・看護管理者訪問看護研修：研修実施要項作成、アンケート検討</li> <li>・COVID課題対策：看護管理学会演題登録抄録作成 新人、先輩看護師対象交流会企画</li> </ul>
2	令和5年5月19日 (オンライン併用)	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者訪問看護研修：研修実施要項およびアンケート作成 協会事業部打ち合わせ</li> <li>・COVID課題対策：新人および先輩看護師対象交流会企画 研修講師オンライン打ち合わせ 研修効果評価のためのアンケート作成</li> </ul>
3	令和5年7月8日	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度活動計画共有</li> <li>・日本看護管理学会発表予演会</li> <li>・新人、先輩看護師対象交流会企画・準備</li> <li>・看護師職能I II交流会企画</li> <li>・令和5年度保健師助産師看護師合同交流会準備</li> </ul>
4	令和5年8月26日 (オンライン併用)	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度保健師助産師看護師合同交流会当日準備</li> <li>・看護管理者訪問看護研修：研修普及対策検討</li> <li>・看護師職能I II交流会企画：講師調整、委員プレゼン内容検討</li> </ul>
5	令和5年9月15日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護管理学会発表報告</li> <li>・「看護ひょうご」委員会活動 掲載原稿確認</li> <li>・令和5年度保健師助産師看護師合同交流会評価</li> <li>・新人、先輩看護師対象交流会企画、運営検討</li> <li>・看護師職能I II交流会準備：委員プレゼン内容検討</li> </ul>
6	令和5年10月7日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人、先輩看護師対象交流会当日準備</li> <li>・看護師職能I II交流会企画：委員プレゼン資料作成</li> <li>・看護管理者訪問看護研修参加状況と課題検討</li> </ul>
7	令和5年10月21日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人、先輩看護師対象交流会研修評価 交流会前後アンケート（スケール）整理</li> <li>・看護師職能I II交流会資料最終確認、当日準備</li> </ul>

8	令和5年12月15日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度活動報告まとめ、令和6年度活動計画方向性検討</li> <li>・看護師職能ⅠⅡ交流会研修評価</li> <li>・新人、先輩看護師対象交流会に関する書籍執筆準備</li> </ul>
9	令和6年1月19日 (オンライン併用)	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者対象訪問看護研修：日本看護学会演題登録準備</li> <li>・新人、先輩看護師対象交流会に関する書籍執筆内容検討</li> </ul>
10	令和6年2月15日 (オンライン併用)	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者訪問看護研修評価、学会抄録準備</li> <li>・新人、先輩看護師対象交流会に関する書籍執筆出版社提出準備</li> <li>・令和6年度保健師助産師看護師職能集会企画検討</li> </ul>
11	令和6年3月15日 (オンライン併用)	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度活動計画検討（短期・中期計画）</li> <li>・看護管理者訪問看護研修：日本看護学会演題登録</li> <li>・令和6年度開催 第2回新人先輩看護師対象交流会企画</li> </ul>

<p>■活動内容</p>	<p>1. 保健師助産師看護師合同職能集会</p> <p>日 時：令和5年6月15日 9：30～12：00</p> <p>場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用）</p> <p>内 容：令和4年度看護師職能Ⅰ委員会活動報告 令和5年度看護師職能Ⅰ委員会活動計画</p> <p>基調講演 テーマ：折れない心を作る組織環境 ～働きやすく・活気ある職場環境～</p> <p>講 師：Nバク 氏（看護管理職 YouTuber）</p> <p>参加者：180名（会場103名 オンライン77名）</p> <p>2. 保健師助産師看護師職能合同交流会</p> <p>日 時：令和5年8月26日 13：30～16：30</p> <p>場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用）</p> <p>テーマ：苦情・クレーム対応はチームワークだ！～プライベートにも活かせる コミュニケーションスキルアップで苦情やクレームの7割は防げます～</p> <p>講 師：Happy-Mc 代表 高山かずえ 氏</p> <p>参加者：155名（会場60名 オンライン95名）</p> <p>3. 学術集会発表</p> <p>学会名：第27回日本看護管理学会学術集会</p> <p>開催地：東京国際フォーラム</p> <p>発表者：佐藤隆平 氏 (共著：高濱和美・古川久美子・田川早苗・住谷良恵・川井正子)</p> <p>内 容：「COVID-19流行期の新人看護師の離職・休職等と教育に関する実態」</p> <p>4. 研究成果より交流会企画・開催</p> <p>日 時：令和5年10月7日 13：30～16：30</p> <p>場 所：兵庫県看護協会会館</p> <p>テーマ：新人と先輩看護師集まれ！二人三脚交流会</p> <p>講 師：愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター助教 内藤知佐子 氏</p> <p>参加者：28組56名</p> <p>5. 活動内容4に関連する、内藤知佐子氏編集メヂカルフレンド社出版書籍執筆</p>
--------------	--

	<p>6. 看護師職能 I II 委員会合同交流会  日 時：令和 5 年10月21日 13：30～15：30  場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用）  テーマ：看護管理者のための訪問看護研修～退院調整のカギを握る人材育成～  発 表：研修受け入れ施設 塚口訪問看護センター 小林澄子 氏  加東市訪問看護ステーション 藤原麻紀 氏  参加者：55名（会場23名 オンライン32名）</p> <p>7. その他：令和4年度調査結果、学会発表、交流会について『看護ひょうご』掲載</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>1. 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成への支援</p> <p>2. 地域包括ケアの充実に向けた連携・協働を推進する。  昨年度事業を継続し看護管理者の訪問看護研修体制整備を行った。5施設で実施したトライアル研修を評価し、委員会及び事業部と検討を重ねた。研修目的を「病院の看護職と訪問看護事業所及び介護関連施設の役割や専門性を理解し、組織を超えた連携体制構築の必要性を認識する」「地域包括ケア体制の推進に向けた看看連携の強化・協働促進を目指す」の2点を挙げ、『看護管理者のための訪問看護研修』実施要項を作成し9月から運用を開始することができた。研修普及を目的に看護師職能 I II 委員会合同交流会を開催した。交流会では、委員が研修での学びを JNA マネージメントリーダーと照合しながら、研修の意義や期待できる効果を紹介した。また研修受け入れ2施設の施設管理者から、看護管理者を受け入れての感想や病院領域への期待、研修受け入れ促進のメッセージなど興味深い発表であった。研修要項作成から交流会の過程において、地域包括ケアの充実や地域連携強化のためには、看護管理者がカギであることを改めて認識することができた。グループワークでは、看護師 I II 領域の相互理解を深める活発な意見交換となった。  整備した研修体制は、看護管理者が地域包括ケアシステム推進のための管理実践対応力の向上や地域連携・協働の充実に関わると考え、積極的広報や学会発表を通し継続的に研修普及に努める。</p> <p>3. 新人看護師支援に向けた取り組み  昨年度取り組んだ調査研究の成果を、第27回日本看護管理学会学術集会で発表した。研究から新人看護師が人間関係形成のきっかけには、新人看護師と先輩看護師が参加するコミュニケーション交流の場が望ましいと考え、テーマ『新人と先輩看護師集まれ！二人三脚交流会』を開催した。交流会は「新人看護師と先輩看護師が協働作業を通し、自尊心やコミュニケーションを高める」「新人看護師と先輩看護師が相互理解を深める」を主な目的とし、内藤知佐子先生を招き魅力的で楽しい講義、ペアで協力し合い解答するクイズラリー、ポジティブ雑談、自尊心を高めるワーク等を行い、研修進行と共に笑顔や活発な声が聞かれる交流会となった。研修前後比較アンケートでは、交流会後に肯定的な回答割合が増加し成果のある交流会となった。また内藤先生支援のもと企画・運営した交流会は施設内の研修企画に参考となり、先生より『前例踏襲の研修から脱却しかつ負担軽減も図りながら効果的な研修企画であった』との評価を受け、交流会について内藤先生編集書籍の一部として執筆依頼を受け、委員会で執筆に取り組むことができた。</p>
<p>■今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者のための訪問看護研修の普及と研修効果検証</li> <li>・新人・先輩看護師のペア参加交流会・研修会の継続と研修効果検証</li> </ul>